

令和3年5月

第37号

曹洞宗中国管区 教化センターだより

竿頭の先に未来をひらく

坐
禅

表紙写真：鳥取市森福寺坐禅堂

《発行所》 曹洞宗中国管区教化(禅)センター

〒683-0802 米子市東福原1-1-22 ウエストビル402号室 TEL.0859-31-5161 FAX.0859-31-5163
HP <http://kyouka-chugoku.com>

印刷／今井印刷株式会社
TEL.0859-28-5551

令和三（二〇二一）年度 布教教化に関する告諭

曹洞宗管長 南澤 道人

いま、私たちは多くの苦難に直面しています。新型コロナウイルス感染症の全世界的な拡大により、多くの尊い生命が失われ、人びとは深い悲しみの中にいます。また、戦争、貧困、格差などの社会不安、近年頻発する自然災害は、私たちに大きな痛みをもたらしています。

今日、曹洞宗の信仰に生きる私たちは、どのような生き方を目指すべきでしょうか。

お釈迦さまは、人生における苦悩の中で、菩提樹の下、坐禅を重ねられ、お悟りを開かれました。その御教えは、祖師方によって相承され、いま、私たちも頂くことが出来ます。身を調え、息を調え、心静かに坐りましょう。仏さまの智慧と同じ正信心により、ものごとを正しく見ることが出来ます。その時、おのずから他者を思いやり助け合う慈悲のところが育まれるのです。

私たちの社会ではさまざまな分断が現出しています。感染症の広がりにより人間関係のさらなる希薄化が進む中、いまこそ、一人ひとりが菩提心を発し、人と人との温かなつながりを深めていかなければなりません。お互いに手を携え、四摂法の「同事」のおさとしを行ってまいりましょう。

すべての人びとが救われることが御仏の願いであります。日々の生活の中で、仏さまに掌を合わせ、世界中の人びとが安らかに暮らせるよう祈り念じ、皆ともに菩薩行を進めてまいりましょう。

合掌

南無釈迦牟尼仏
南無高祖承陽大師道元禪師
南無太祖常済大師瑩山禪師

令和三年度 布教教化方針

曹洞宗の布教教化は、一仏両祖の御教えを実践する中で、信仰の生活から生まれる深い喜びと安心を願い、その実現を目指すものです。先の見えない不安で困難な時代にあっても、私たちは今こそ「竿頭の先に未来をひらく」の決意のもと、未来を見据え、更なる一歩を踏み出さなければなりません。

本年度の布教教化方針は、これまで推進してきた「禅の実践」「一仏両祖への帰依」「菩薩行の実践」と共に、昨年度に引き続き、菩薩行の実践としての「SDGs」への取り組みを推進することといたします。

宗門においては長い間「人権・平和・環境」のスローガンを掲げ、様々な取り組みがなされてきました。これらは貧困や差別、環境や平和の問題を包括的に理解し、連携して取り組もうというSDGsと、志を同じくするものです。世界中の人びとのために、次世代の「いのち」のために、身近な

生活を振り返り自分ができることを考え、少しずつでも歩みを進めて参りましょう。

SDGsへの取り組みと併せて、これまで布教教化方針として定めてきた、部落差別やコロナ感染症に対する差別や偏見等あらゆる差別の根絶、平和な社会の実現、地球環境への配慮、東日本大震災及び原発事故、また多発する災害の被災地支援、自死問題への対応などの取り組みも引き続き進めてまいります。

その基軸となる指針として、以下の項目を定めます。

一、一仏両祖を敬い、おとなえの普及につとめます。

私たちは、日々「南無釈迦牟尼仏」「南無高祖承陽大師道元禪師」「南無太祖常済大師瑩山禪師」とおとなえし、その御教えに学び受け継ぎ、日々の行いに生かしていくことの大切さを伝えていきます。

二、禅の実践をすすめます。

私たちは、寺院の内外を問わず、様々な機会において坐禅の実践をすすめます。より多くの方が坐禅に親しめるよう、いす坐禅やオンラインでの坐禅会、またインターネットによる動画の配信等を活用し、常に坐禅普及の可能性を模索してまいります。

そして不安で落ち着かない社会の中にあっても、身と息と心を調える坐禅を中心とした「禅の生き方の実践」が、智慧と慈悲を育み、確かな人生の基軸となることを人びとに伝えひろめます。

三、「修証義」「四大綱領」に基づく菩薩行の実践をすすめます。

私たちは、本宗の教義である「修証義」「四大綱領（懺悔滅罪・受戒入位・發願利生・行持報恩）」に基づき、布施・愛語・利行・同事の四摂法に代表される菩薩行の実践をすすめます。そして、世界中の人びとの幸せと安寧を願い行動することが、自身を菩薩として成長させる大切な修行になること、更には自分自身の深い喜びと安心につながることを伝えていきます。

四、人と人とのつながりを大切にして、全ての人びとが救われる関係づくりを目指します。

私たちは、寺院を場とした教化活動にとどまらず、積極的に地域社会に働きかけることで、人々の悲しみや苦悩に学び、寄り添い、助け合える関係を築けるようつとめます。このコロナ禍において、人と人との接触が制限される状況にあっても、手紙やメール、電話などの様々な方法を駆使して、こころが通う温かな関係を大切にします。

また、仏事が、簡略化されがちな世情の中で、改めて、生き死にを超えたつながりの大切さを伝え、出来る限りのご供養が営めるよう力を尽くします。

※SDGs (Sustainable Development Goals) は「持続可能な開発目標」と訳され、二〇一五年の国連サミットで加盟一九三カ国の全会一致で採択された「貧困や飢餓の解消」「平和的社会的実現」などに関連する一七の課題を、統合的・包括的に解決していくこととする国際目標です。解決していくこととする国際目標です。

統監挨拶

天寧山傳燈寺 住職 和田 光史



令和三年度に当たり、一言御挨拶を申し上げます。

新年度を迎え、管区内諸老師におかれましては、益々御健勝にて四衆御接化の御事と拝察申し上げ慶賀に存じます。

平素より、中国管区教化センターの事業に格別なる御理解、御協力を賜り誠に有難う存じます。

この度令和二年十一月一日、前長尾武士統監老師が大本山永平寺侍局に就任なされたため退任となり、後任として小柄が統監という重責を担うことと相成りました。もとより浅学不徳不才の私儀、全くその器でございませぬが、職責を精一杯勤め、

教化活動の推進をさせていただく所存でございます。何卒宜しくお願い致します。

本年度の告諭は、お互いに「いち」を生かしあう「同事」という生き方をおさとしです。道元禪師さまは、「海の水を辞せざるは同事なり、水の海を辞せざる徳も具足せるなり」と示されています。海は、全ての水を受け入れ、どのような水をも拒まない。また、水も海を拒むことがない。大きく広がる海のように、相手の苦しみや悲しみを自分のこととし、共に悩み、歩む生き方を大切にしていく必要があります。人は一人では生きていく事ができません。それ故にご縁をいただく人や物やあらゆるものに支えられ、生かされ、繋がっています。その一つ一つに心をめぐらせ、分かち合い、喜び合い、慈しめ合いながら豊かな人生を作り上げていき、垣根を振りほどいた社会の実現を目指していかなければなりません。

ん。

さて世界状況をみますと、地球温暖化と災害、戦争、紛争、テロ行為、貧困、格差、自死、いじめ等の深刻な問題が広がっている中で、今や新型コロナウイルス感染症という未知のウイルスと闘っています。葬儀、法事、恒規法要の中止、規模縮小といった寺院経営にも影響を及ぼし、もはや存続すら不安を覚えた寺院も少なからずあったと聞いています。しかし私達には、皆が三密を避け、一人一人が為すべきことを為す他ありません。

そしてこれから先、我々が目標に掲げて達成しないとまらないSDGs（持続可能な開発目標）への取り組みです。二〇一五年九月、国連サミットで採択され、国連加盟一九三カ国が二〇一六年から二〇三〇年の十五年間、「貧困や飢餓の解消」「平和的社会的実現」等十七の課題を統合的、包括的に解決していこうとす

る国際目標としたものです。一人一人がこれらの課題に関わり、考え、解決できるよう進めてまいらなくてはなりません。これは、本年度の布教教化方針に示されているように、「禅の実践」「一仏両祖への帰依」「菩薩行の実践」の一つとして取り組んでまいりたく存じます。

教化センターの事業は、一通りの事業を予定していますが、昨年度は中止、リモートでの開催等様々な形を取って参りました。皆様の意向、意見、状況を踏まえながら推進していく予定にしております。また役員は、何分不慣れで微力ではございますが教化宣揚に精進努力する所存です。宗務所様、管内諸老師のご指導、ご支援をお願い申し上げますと共に、皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。簡単で意を尽くせませぬが就任の挨拶と致します。

管区長退任挨拶

岡山県宗務所所長

酒井 晃道



緑樹清々として万物長用するよき季節を迎え、管区内諸老師におかれましては、益々ご清祥にて接化の事と拝察申し上げます。

二年前、輪番制とはいえ、浅学非才の私が重責をお引き受けすることになり、いささか不安でありました。しかし、センター統監老師・役職員、各宗務所長老師・役職員の皆様、また、管内諸老師の皆様のご法愛とご支援を賜り、無事に勤めさせて頂くことができました。ここに厚く御礼を申し上げます。

この間、管区内で激甚災害が発生した場合に備えて「災害見舞金規程」を制定し、二年目は、「管区規則」の成文化に向けて取り組んでまいりました(承認は総会)。二度にわたるアンケートや書面決議で、役職員の皆様には、大変お忙しい中ご協力を頂きました。お陰様で、私の中の懸案事項を解決することができました。さて、新型コロナウイルス感染症の拡大で、私たちの生活は大きく変わりました。それに伴い、コロナ禍に

関連した人権問題が各地で発生し、残念な思いでいるところです。

連日にわたり、テレビやインターネット等で、感染者数のみならず、行政の対策への国民の不満や医療のひつ迫状況等が伝えられています。これらの情報に我々は、不安や恐怖をより強くしていきます。コロナ禍における差別や偏見は、こうした環境から生み出されると考えます。

しかし、中には誤った正義感から「世間のルール」に従わない人を攻撃する人まで現れます。これらの行動の根底にあるものは、日頃の生活の中で不満や生きづらさを抱えている人たちの「苦」の存在ではないかと思われまます。コロナ禍は、日本社会の構造と歪みを浮き彫りにしたのではないのでしょうか。

今こそ宗教者に求められることは、四諦八正道の実践です。中国管区教化センターを中心にして、各寺院が、コロナ禍で生じた「苦」に寄り添い、正しい考え方や行動に導くことが必要であります。このことが、不当な差別、偏見を減らすことにつながるかと考えます。

最後になりましたが、この度新たに管区長に就任頂く澤田老師には、充分ご自愛いただき、宗門発展のため、一層のご教導を賜りますようお願い申し上げます。

今後とも何卒ご教導ご法愛を賜りますようお願い申し上げます。退任の挨拶とさせていただきます。

管区長就任挨拶

鳥取県宗務所所長

澤田 宗博



禍転じて改善の好機に

柳緑花紅の好時節となりました。管区内各寺院老師におかれましては、愈々ご清祥にて四衆接化にお勤めのことと拝察申し上げます。

この度、前管区長岡山県宗務所長酒井晃道老師の任期満了退任に伴い、後任として不肖老衲がその重責を拝命いたしました。教化センター及び各宗務所役職員並びに管区諸老師皆様のご法愛とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

酒井老師には、任期中のコロナ禍「曹洞宗中国管区災害見舞金規程」と「曹洞宗中国管区運営協議会規則」制定の提案をなさり、その実現に率先してご尽力されこの度施行できる運びとなりました。心から敬意と謝意を表したいと思います。

さて報告になりますが、四月二日の永平寺貫首南澤道人猊下の晋山開堂法定聚会に管区長として随喜、祝意を表しました。また、護持会管区集会は「おおむね四年に一回開催」と改正されましたので今年度は計画

しておりません。

一年前に発生した新型コロナウイルスは、全世界に蔓延し現在も翻弄させられ、三密回避・マスク着用・手指消毒・自粛生活など当たり前のこととなりましたが、宗務所行事も計画しても中止せざるを得なく何か虚しい心境になります。わが国でもワクチンの接種が始まったとはいえ、未だ収束の見込みはなく、これまでの日常生活に戻れる日が待遠しいです。

また、コロナ禍、現今の法事・葬儀の方法が随分変化しました。今では家族葬と称して少人数で用僧もない葬儀が当たり前となり、法事も会食を避け簡素化になりました。感染予防のためとはいえ、故人の人格・生涯に触れたり報恩感謝を表す機会や人と人との温もりのある会話が少なくなり一抹の寂しさを感じます。

ただ、私たち宗侶も今後の寺院の在り方、葬儀法事等の行事の仕方など一考を要することもあります。遠方の檀信徒の皆さんとのリモートによる法事・法話の実施、慶弔会や恒期法要のやり方、宗務行政・寺務の見直し等、改善を必要とするのではないのでしょうか。「竿頭の先に未来をひらく」のお言葉にもありますように、この禍を転じて諸々の改善に良いチャンスになればと思います。

今後とも管区内寺院諸老師のご指導ご支援をお願い申し上げます。挨拶といたします。

令和2年度 事業報告

5	上旬	センター報第36号発刊	中国管区内ご寺院（約900ヶ寺）に郵送（兼務地で不在の場合は未発送）
5	14	教化資料等企画制作委員会	教化センターよりオンライン併用で開催 ラジオ原稿の点検・校正
8	26	教化資料等企画制作委員会	アークホテル広島駅南よりオンライン併用で開催 ラジオ原稿の点検・校正
9	7	センター布教講習会	教化センターよりオンライン開催 講師 ◎曹洞宗特派布教師 神奈川県東泉寺住職 関元俊道老師 講義『新しい時代に向けての布教教化について』 受講者24名
10	8	教化センター後期連絡協議会	宗務庁（主監会）よりオンライン開催
10	14	教化活動推進委員会	広島市ヒロデン 令和2年度前期報告 令和3年度計画
11	9	婦人会中国管区役員会 （婦人会事業）	教化センターよりオンライン開催各宗務所婦人会代表（各会長など） ・研修会開催について・今後の活動について
12	16	教化資料等企画制作委員会	アークホテル広島駅南よりオンライン併用で開催 ラジオ原稿の点検・校正
2	18	教化活動企画委員会	アークホテル広島駅南よりオンライン併用で開催 布教教化活動について
2	25	教化指導員研修会	松江市 夕景湖畔すいてんかくよりオンライン併用で開催 講師 ◎大本山永平寺副監院 三重県廣禅寺住職 武内宏道老師 講義『辨道の好機－道元禅師のお言葉より－』 ◎鳥取県情報モラルエドゥケーター 今度珠美氏 人権学習『情報社会と人権 メディアと上手に付き合うために』 受講者 現地20名・オンライン22名 合計42名

○毎週のラジオ放送【広島市 RCCラジオ中国放送制作】

毎週土曜・日曜日、朝5時台～6時台のAMラジオ放送『今日のこころ 私のこころ』→5分間枠中国5県計4局で放送中。
※放送に際し、企画制作委員会を年3回、ラジオ収録を毎月1回実施。

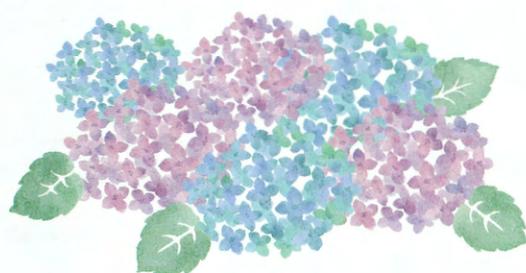
○認可参禅道場紹介動画制作

中国管区内の認可参禅道場の紹介動画を撮影しYouTubeに投稿中。

文化講座 ◎松江市講座（山陰中央新報社文化センター講座）「心安らぐ写経入門」毎月1回開催

※NHK文化センター米子教室は閉鎖のため終了。

文化講座再開に向け開催会場等検討中。



岡山県宗務所だより

令和二年度事業報告

教化主事 中山 尚三

まず始めに中国管内寺院の皆様のお力添えを戴きまして、昨年の十二月で管区事務の任期満了を無事迎えることが出来ました事、厚く御礼申し上げます。

昨年は新型コロナウイルス感染症の拡大により宗務所行事はほとんど中止となり、婦人会中国管区研修会、禅をきく会も取り止めとなりました。このような中、寺院会では、あえてこの様な時代だからこそ、寺院の在り方を学習する為、人権擁護推進主事 樋口三城老師に講師を依頼して『パンデミックと人権』と題し、学習会を開きました。三密を避けるため、役員のみで聴講し、講義の様子をDVDに録画して寺族会員に配布されました。

コロナによる偏見・差別・ハラスメントの実際にあった事例を上げながらの解説があり、噂が大きくなり、真実と懸け離れた虚偽となって拡散されていく恐ろしさを改めて実感しました。現在寺院は、少子高齢化、過疎化、檀家減少等で経済基盤を失いつつあります。コロナ禍はこの現状を一層加速させ、寺院崩壊への大きな打撃となっています。今年で十年の節目となる、東日本大震災を機に、宗門のスローガンとなった『向き合う、伝える、支え合う』このことを実践することにより、人と人を繋ぎ止める行動を起こすことが必要であることを学びました。

ウィズコロナ時代に対応する為、オンライン研修や会議が出来るよう機材も整備中で、中止ありきではなく、できる方策を考えて模索しています。困難な時代だからこそ、県内寺院と共に、護持会、寺院会、婦人会、宗務所役職員一同、身心一如となり少しずつ前に進んで参りたいと思います。

広島県宗務所だより

活動の報告と実際について

副所長 森永 正憲

令和二年度は、出発時からコロナウイルス感染症と言う、新たな病原体が中国に端を発し、日本にも感染が拡大し、ひいては全世界にまで拡散するとう未曽有の状況となりました。

そんな中で、各宗務所では各教区長老師を始め、寺院、青年会、梅花師範会それぞれの代表者もご参加賜り、所会の開催を試みました。その中で、例年通りの計画を提示させて頂きました。その時点で既に梅花全国奉詠大会も中止の状況でしたが、結局、年度内全ての行事・活動を中止せざるを得ない感染拡大になっていきました。教区長様を始め、全ての方々、楽しみにされていた檀信徒の皆様へ申し訳なく感じて居るところです。此の上は一日も早くコロナウイルスの終息を祈念するばかりです。当管内におきましては平成三十年七月の集中豪雨により被災されましたご寺院の復旧復興が進み、視察をさせて頂いたところで、ご支援頂きました各方面の皆様へ改めて感謝の誠を捧げたいと存じます。また、県内の布教教化活動の一環として、若手僧侶の皆様による、ラジオ法話について過去にさかのぼり、冊子にまとめさせて頂き、今般県内ご寺院様に送付させて頂き、ご好評を頂いたところであります。

終わりに、此の上は寺檀の一層の絆を深めて安心した日常生活に戻れます様、心から念じるところです。管区内皆様様のご多幸をお祈り申し上げます。

山口県宗務所だより

コロナ禍の宗教者として

教化主事 山本 昌男

昨年度はコロナ禍によりほとんどの行事が中止となりました。もちろん各寺院における法要も中止や縮小開催となったことは言うまでもありません。

その様な中でも、他宗務所様や教化センターでは、ネット中継による研修会を開催されたというお話を聞き、デジタル社会に呼応した活動の必要性を感じた次第です。

確かに、個人的には檀信徒の皆様への葬儀において、ネット中継やライン電話による音声で中継があつたのも事実で、宗教活動の新たなあり方も深く考えさせられる一年でありました。

他方、私どもは人の心に「安心」を願う教団でもあります。

昨年二月に政府による「指定感染症」の施行に伴い、寺院活動においての「感染しない・感染させない」対策の徹底と、ハンセン病差別の反省のもと自らの人権感覚の再確認と人権的教化のお願いを教区長様を通して各寺院に伝達させて頂きました。

また夏には、感染者や医療従事者に対する差別や偏見のテレビ報道も頻繁となり、日本赤十字社のネット啓発を参考に、コロナウイルスに対する人権啓発のポスターを作成し、県内全寺院に配布を致しました。

今後も諸老師方のご指導を賜りながら、人権感覚をもとに宗務所行政を進めていきたいと存じます。

― 誹謗中傷・差別をやめて、
医療をささえる皆様に敬意と感謝を―

鳥取県宗務所だより

鳥取県宗務所管内の各種行事について

教化主事 川崎 康弘

令和二年度の宗務所行事はコロナ禍の影響で教化、梅花、人権ともにほぼ中止いたしました。現職研修会と寺族研修会については、本庁発行のテキストや傾聴に関する参考書籍を配布して自己研鑽を積んでいただきました。

鳥取県は感染者数が比較的少なかったですが、感染予防に関しては国や県の対策指針等を参考に各寺院への注意喚起や感染防止対策について再三通知しました。特に法要の際のマスク着用、手指消毒、三密回避策について徹底して頂くよう掲示物も配布しました。

各寺院も予定されていた晋山結制、本葬儀等の法要について軒並み中止、延期を決められました。但し、中には差定変更や参加人数を絞るなどの対策を講じて実施された寺院もあり、他寺院の参考になるかと思えます。

令和三年度については、現段階では昨年度同様の行事を予定していますが、コロナ禍の状況次第で中止、延期して代替策を講ずることも検討しております。

また令和二年十二月より中国管区業務を引継ぎました。令和三年度の布教委員長・役員会議に替わる「運営協議会」および人権啓発研修会などの管区行事も既に日程をご案内しております。状況が好転して予定どおりに開催できればと祈念しております。

鳥根県第一宗務所だより

宗務所事業報告

宗務所長 山崎 禅雄

令和二年度は前年までの事業を基本的には引き継いでいく方針で企画を立て、特派布教・布教講習会、現職・寺族研修会、人権学習・檀信徒地方研修会、梅花流特派講習会・奉詠大会、及び本山研修会、梅花流全国奉詠大会参加等を展開するつもりでありました。

しかしながら、管区内の各宗務所と同じ事と思いますが、昨春以来の新型コロナウイルス感染症拡大の影響をもろに受けて全て中止せざるを得なくなりました。当宗務所管内の鳥根県西部（石見地方）は幸いにもコロナ感染者は結果的には一年間で二十数名とわずかでありましたが、常に「密」の割合での感染者の出ることを怖れ、延期・中止の判断をいたしました。令和三年度においては、リモート参加という方法も考慮に入れて事業の展開を計るようにはしないでほしいかと思われまします。

各事業がコロナ禍で中止となったなか、当宗務所における長年の懸案事項であった宗務所費の改正に一年間かけて取り組みました。

令和二年度からの級階査定による宗費改正に伴い大幅に減額となる宗務所運営費を値上げする方向で改正案を数種、管区寺院に提示し、教区長を中心に協議を重ねました。様々な意見が出ましたが、四十年来据置になっていた所費を値上げすることへの賛意を得、令和三年四月一日からの施行となりました。

このことにより数年来続いていた赤字を解消し、今までの事業を引き継ぐことができるようになりました。

鳥根県第二宗務所だより

令和二年度 宗務所行事の概要

教化主事 板倉 省吾

六月九日、寺族研修会を開催。鳥取県八頭郡八頭町・光澤寺（浄土真宗本願寺派）の宗元英敏師に「二〇年後のお寺を創る」過疎地寺院の生き残り戦略」と題して講演をいただきました。宗元師は全国でもいち早く「体験型宿坊」を開設し、過疎地の寺院活性化のモデルケースを示されました。また、「セラピールームSesat」主宰の宮崎菜菜美氏を講師として「写仏彩色のワークショップ」を実施しました。この日の研修には教区理事の九名が参加。残りの方は、録画した宗元師の講演を、後日各教区単位で分散して視聴していただきました。

八月二十九日には現職研修会を開催。講師に山口県立大学教授の鈴木隆泰師を招聘し、「葬式仏教正当論」と題してご講演をいただきました。また、部落解放同盟大阪府連合会執行委員長の赤井隆史氏にリモート出講いただき、「コロナと人権 展望二〇二〇」格差と貧困が蝕む社会の中で」と題してご講演をいただきました。

十一月二十六日には、コロナ禍を考慮して中止となった檀信徒地方研修会の代替として、宗務所会館を会場に、全国曹洞宗青年会制作の映画『典座』の上映会を実施。出演者の倉島隆行師、河口智賢師にリモートにてご参加いただき、上映前に解説をしていただきました。参加者三十五名でした。

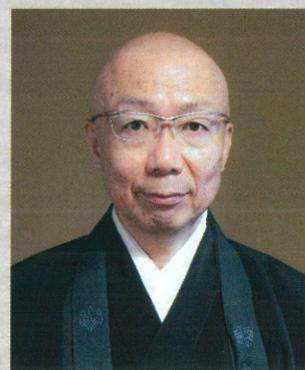
三月二十六日には、同じく中止となった梅花流地方奉詠大会の代替として、松江市八雲町『しいの実シアター』を会場に「梅花のつどい」を開催。場内は、師範会他関係者数名以外は無観客の状態で、管内の十講が登壇。その模様をインターネットで配信しました。

また、昨年四月から今年の三月まで、毎週木曜日の朝と日曜日の夜、週二回にわたってインターネット回線を利用した坐禅会「遠隔坐禅会」を実施しました。

紙上法話

「心を生かし合う」

センター布教師 島根県 正禅寺住職 吉長裕教



私は学校内外において、困難を抱える子供たちに関わり支援を行っています。

不登校、或いは登校できても集団生活に馴染めないなど、現れる状態は似ていたとしても、そこに至る理由と経緯は一人一人違います。しかし、人との関係を起因とすることが多くに共通するため、親子関係や友人関係のみならず、出会ってきた全ての人との関係を紐解き、踏み込んでいくことになります。

子供の社会に接していると、威圧的且つ暴力的な言葉によって自分の優位性を保とうとする場面をよく目にします。

発せられる「うざい」「きもい」「きしよい」更に「死ぬ」などの言葉は、初めから相手を攻撃する意図を以て繰り出す場合もあれば、自分の立場が悪くなった時には盾の意味を持つことも往々にしてあります。

一方で言われたほうが受けるダメージは決して軽くありません。大人の私が言われてもぎゅっと心が収縮するのを感じますが、子供にとっては尚更強烈な痛みが心に蓄積されていきます。回避するためには、疲弊した心を閉ざすしかない状態まで追い詰められた子供たちと何人も向き合ってきました。

また別の関係として、双方が長期間に亘って言い返すことを繰り返し、互いに傷付け合う状況に陥った結果、大きなダメージを受けて表情の無くなった子供もいました。

「人の悪口を言うと自分も悪口を言われるよ。攻撃すれば攻撃が返ってくる。でもね、人に優しくすると優しくさまた必ず返ってくるんだ。皆はどっちがいいかなあ。例えばね……」と幾つかの実例を挙げて対話すると、揃って「優しいほうがいい」と答えますが、時に自分の優位性が崩れそうになると安易に強い言葉で牽制する子供が現れます。

子供の社会は大人社会と同じです。但し、それは子供たちが自ら作ったのではなく、大人を見て真似をしながら行動した結果として存在しています。

道元禅師は『ただまさに、やわらかなる容顔をもて、一切にむかうべし』と示されました。

いつでも和やかな顔つきで全てに接しなさい、との意を理解するならば、他者を思いやる慈しみの心である慈悲へと繋がります。

そしてその慈悲の実践こそが、お互いを生かし合い、それぞれを尊重し合う社会の形成に向かって繋がっていきます。

温かい言葉と柔らかな笑顔が溢れる環境に生きる人の心はとても穏やかです。

今、生きづらさを感じている子供たちにとって、先の社会全体がそうであるために、私たち大人が慈悲の実践をし続けることが大事なのだと思うのです。

布教講習会



令和二年九月七日
オンライン開催

鳥取県 長通寺 住職 磯江 紹元

「管区布教講習会」に参加して

中国管区教化センター布教講習会が九月七日にリモート研修という形で開催されました。今年は新型コロナウイルス感染拡大に伴い多くの研修会が中止となり、今まで当たり前であったことができなくなっていました。その中、リモートという新しい形での受講はとて有難く、研鑽の場は貴重であり、多くの方の尽力によって開催されているのだと改めて感じる機会となりました。

本年は、神奈川県東泉寺住職 関水俊道老師による「新しい時代に向けての布教教化について」糧となる仏教的生き方の敷衍について講義を頂き、現代の世において、檀信徒をはじめ一般の方々にとって仏教は、「生きる力」になっているの

か、どのような法話が求められているのか、また寺院として地域の中でどのような役割が求められているのかについてお話をいただきました。

その中で、「法話は、仏教的な自分の感動を聴衆に伝え、聴衆が感動したことで成り立つ」とあり、この言葉を聞いたとき「自分のしている法話は本当に自分の感動がこもっているのだろうか、教えの実践はできているだろうか、お話をしている聴衆の方々を置き去りにしていないだろうか」と多くの事を振り返ると共に、今生きているこの時代の現実から目を背けることなく、自分自身の日常生活から見つめ直して行かなければならないと改めて感じる事ができました。

また、布教教化方針の中でSDGsへの取り組みについても記され、仏教は、寺院はどのように展開していけるのかを考える機会となりました。

た。講義の中では、お寺を活用し「縁を深める場」を創っていく事の大切さをお話されました。現在の世の中は感染症流行により、人との身体の距離を取らなければならなくなっています。その中、どのようにしたら寺院を上手く活用できるのか、そして、私達は菩薩行を実践しながら、人々との心の距離をつないでいく場として、また僧侶として「縁」を大切にして行かなければならないと思いました。

今回の講義を受け、仏法という変わらない教えを大切にしていけるのはもちろんの事、社会、世の中の流れをしっかりと見ていかなければならないと感じました。また、リモートでの講義を聴くことができ、画面越しではありましたが、講師先生をはじめ、参加者皆様の布教に対する熱意を感じる事ができ私自身、身が引き締まる思いと共に、求められてい

る布教、法話をしていけるよう、今ある日常の当たり前を大切に日々精進して参りたいと思いました。



教化指導員研修会

令和三年二月二十五日

於 松江市・松江しんじ湖温泉 夕景湖畔 すいてんかく
オンライン併用開催

島根県 妙楽寺住職 森井 宗淳

教化指導員研修会に 参加して

令和三年二月二十五日に、松江市の「松江しんじ湖温泉 夕景湖畔 すいてんかく」に於いて教化指導員研修会が行われました。今年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けてビデオ会議ツール「Zoom」を使用し現地参加とオンライン参加による研修会開催となりました。



武内宏道 老師

講義Ⅰ、講義Ⅱは大本山永平寺吉祥閣副監院兼布教部主幹、人権擁護推進室次長の武内宏道老師によります「辨道の好機」―禪師様のお言葉

より―』と題した講義でした。武内老師から現在の永平寺の概要や昔との比較を交えたお話と永平寺の歴代禪師様のお言葉をご紹介いただきました。講義を通して世間におかれてる僧侶の立ち位置などを再認識するとともに自分たちにできることが何なのかを考えさせていただく講義でした。

人権研修は、鳥取県情報モラルエデュケーター、デジタル・シテイズンシップエデュケーターの今度珠美氏によります『情報社会と人権・メディアと上手につきあうために』と題した講義をいただきました。普及するインターネットやSNSといったツールの中で相手が見えないからこそ溢れている差別や言葉の暴力を改めて考えさせていただき、自分も気づいていないうちにやっているのだらうという認識を頭に持つておくべきだと感じました。

この一年強もの年月は、新型コロナウイルス感染症蔓延という誰もが

予期していなかった事態になりました。日本中世界中が生活環境を変えざるを得ない事態となり、ステイホームやおうち時間といった言葉が叫ばれ、家で過ごす時間が増えました。その結果、動画投稿サイトやSNS、オンラインを使った活動や娯楽が一気に注目を集めました。それは、寺院や僧侶の活動も例外に漏れずオンライン法要やオンライン坐禅会といった現地に行かずとも参加できるもの、そしてSNSや動画投稿サイトを使った告知や教化活動などが増えてきました。

今回の研修会では、この一年ほどの間の一気に目まぐるしく変化していく環境の中で、見えないウイルスの恐怖と同様に、見えないネット上の人権差別などを改めて考えさせていただく機会となり、さらには一人一人が今一度僧侶の原点に立ち返ることの大事さを考えさせていただく研修会となったように思います。今後、感染症がある程度落ち着いたら



今度珠美氏

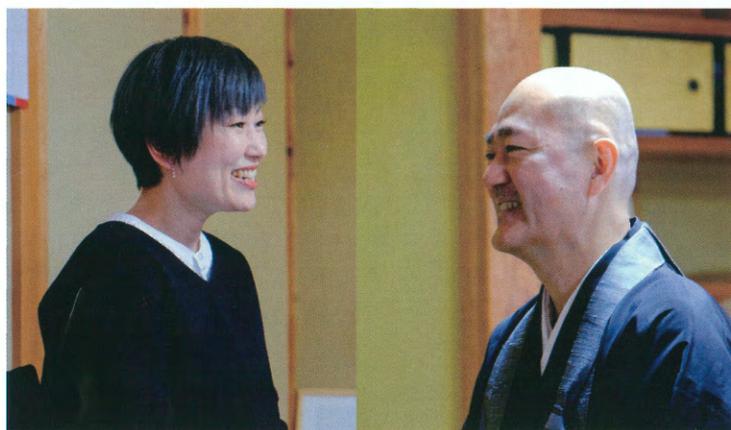
しても、以前と同じには戻ることはないのだろうと思います。そして、今までもこのような苦難は数えきれないほどあったのだと思います。その中で、仏教が伝わり続けてきた背景をしっかりと考え、変わらない教えだからこそ、その場その場で私たちが臨機応変に教化活動をしていき、大事なことは何なのかを自分自身に問いていきたいと思えます。

最後に、このような状況下で研修会を開いていただいた役職員の皆様にご感謝するとともに、感染のリスクがある中で遠路島根県に來県いただきました講師の先生方に厚く御礼申し上げます。ありがとうございます。

新たな 教化資料の 取り組み について

二〇二〇年は新型コロナウイルスの猛威によって引き起こされたあらゆる生活様式の変容により社会活動、経済活動や各種イベント開催をオンライン上でやり取りするインターネット技術を駆使したものに切り替わった年とも言えます。

教化センターもこの変化に対応すべく布教化に関する発信方法について今まで以上にフェイスブックやインスタグラム等のSNSの活用、そして今回新たな発信手段としてYouTube動画の作成に取り組み始めたところではあります。



参禅道場紹介動画「お寺で坐禅しよう！」

折しも教化部企画研修課より坐禅指導ができる寺院の紹介を教化拡大の重点施策の一つにとの要望があった事から、中国管内内の認可参禅道場の紹介動画、特に当教化センターのホームページ上に掲載をいただいている参禅道場の紹介動画を制作し配信する企画を立ち上げたところです。現在管内内六か寺を撮影させていただきました。多くの方に坐禅に親しんでもらえるよう、ナビゲーターに一般の方を起用し坐禅人としてそのお寺で坐っていたいただいています。

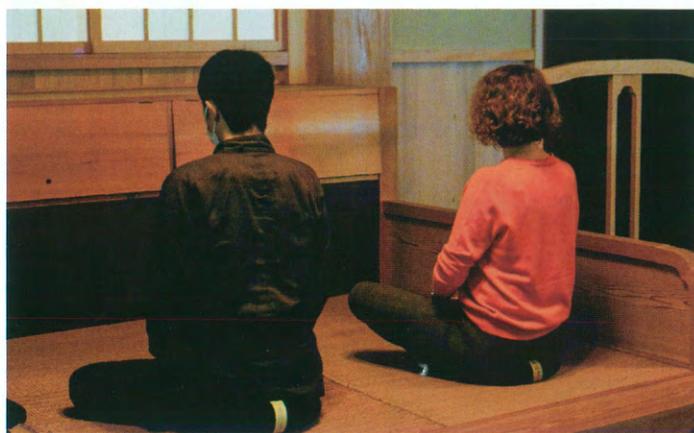


坐禅の魅力を発信

す。またご住職に坐禅について様々な質問を投げかけ、興味と理解を深める機会となるよう鋭意制作中です。

また今後の展開としては引き続き坐禅ができるお寺をご紹介していくとともに、法話の配信、またラジオ放送「今日のこころ私のこころ」の過去の作品を多くの方に朗読していただき配信に繋げていきたいと考えております。

このコロナ禍により従来の形での教化活動が難しくなった反面、新たな



坐禅人には一般の方を起用

発信手段に取り組みきつかけとなり、ある意味発信の幅が広がったと前向きにとらえたいです。

いずれにせよ教化センターは本部布教の推進と、その地域実情に即した布教教化活動を展開していくのが役目であります。多くの方に仏教、そして禅の教えを敷衍するよう努めてまいります。今後とも皆様方のご協力の程何卒お願い申し上げます。



YouTubeチャンネル
QRコード

令和3年度ラジオ法話「今日のこころ 私のこころ」放送予定日

回数	月 日	県 名	市町村	寺院名		担当者	タイトル
653	4月3日・4日	山口県	柳井市	欣慶寺	副住職	野坂正道	みんな等しく生かされている
654	4月10日・11日	広島県	世羅町	鳳林寺	副住職	原田良浩	報恩感謝
655	4月17日・18日	鳥根県	安来市	萬松院	住 職	若槻光哉	人の縁を想う
656	4月24日・25日	広島県	三原市	東光寺	住 職	松岡真誠	和顔愛語
657	5月1日・2日	鳥取県	倉吉市	正明寺	住 職	白澤和教	語呂合わせは程々に
658	5月8日・9日	山口県	熊毛郡	直指院	住 職	田村光雄	ハナちゃんのカッパ
659	5月15日・16日	岡山県	津山市	長安寺	副住職	久保泰道	かっこいい女の子
660	5月22日・23日	鳥根県	松江市	正禅寺	住 職	吉長裕教	海の如く・水の如く
661	5月29日・30日	広島県	庄原市	萬福寺	住 職	高橋道英	堅香子咲くころ
662	6月5日・6日	山口県	周南市	海印寺	住 職	角 光全	目立たない所にこそ
663	6月12日・13日	岡山県	井原市	中興寺	住 職	野口祥善	諸行無常
664	6月19日・20日	鳥根県	益田市	海雲寺	副住職	城市泰紀	祖母の死
665	6月26日・27日	鳥取県	鳥取市	金龍寺	住 職	岡崎大典	寄り添うこと
666	7月3日・4日	山口県	萩市	全柳寺	住 職	山本昌男	葬儀のありよう
667	7月10日・11日	広島県	広島市	海蔵寺	住 職	福原孝英	相手に感謝の言葉を伝える
668	7月17日・18日	鳥根県	出雲市	莊嚴寺	住 職	和田晶隆	「生きる」。いのちとは
669	7月24日・25日	山口県	山口市	長徳寺	住 職	河谷正也	仏様に勇気をいただいて
670	7月31日・8月1日	鳥取県	東伯郡	龍徳寺	住 職	山本康典	禅の勧め
671	8月7日・8日	鳥根県	出雲市	萬藏寺	副住職	山本英之	供養の修行
672	8月14日・15日	岡山県	高梁市	安正寺	住 職	中山尚三	当り前の日常が幸せ
673	8月21日・22日	広島県	竹原市	薬師寺	住 職	井上光由	親子の絆
674	8月28日・29日	鳥根県	松江市	安養寺	住 職	大野道源	ねがいの心
675	9月4日・5日	山口県	熊毛郡	蓮成寺	住 職	土田裕明	人を思いやる
676	9月11日・12日	鳥取県	米子市	梅翁寺	住 職	倉瀧英信	ことばのおくりもの
677	9月18日・19日	鳥根県	安来市	圓光寺	住 職	勝部英宏	生活の中の学び
678	9月25日・26日	岡山県	小田郡	金龍寺	住 職	祐川勝善	「今ここ」を生きる
679	10月2日・3日	鳥根県	浜田市	訂心寺	住 職	木村芳典	「造花」と「生花」
680	10月9日・10日	広島県	尾道市	長福寺	徒 弟	飯島孝仁	誰かが見ていなくても
681	10月16日・17日	鳥取県	東伯郡	嶺松院	住 職	新田朗尚	仏様は怒らない
682	10月23日・24日	鳥根県	江津市	薬王寺	住 職	末 豊源	病によって得たもの

※上記一覧の予定は変更する場合がありますのでご了承下さい。

ラジオ局	地 域	周波数	曜 日	放送時間	放送日のご案内 「今日のこころ 私のこころ」 曹洞宗ラジオ法話放送
RCC (広島)	広島市	1350kHz	土曜日	6:25~6:30	
	福山市・三原市・府中市	1530kHz			
	三次市・庄原市・東城町	1458kHz			
KRY (山口)	山口市	1458kHz	土曜日	5:30~5:35	
	萩市	1485kHz			
	下関市・岩国市	918kHz			
	周南市・須佐町	765kHz			
RSK (岡山)	岡山県	1494kHz	日曜日	6:10~6:15	
BSS (山陰)	鳥取市・出雲市・益田市	1431kHz	日曜日	6:45~6:50	
	倉吉市・江津市・浜田市	1557kHz			
	米子市・松江市	900kHz			
	境港市・安来市				
	大田市				

曹洞宗ラジオ放送「今日のこころ 私のこころ」

ラジオ法話集 2020年度版

《令和2年4月～令和3年3月》52話収録



一冊1,000円(送料込み)で頒布いたします。
曹洞宗中国管区教化センターまでお申し込みください。

お知らせ

教化指導員研修会

- 日時 令和3年6月9日(水) 正午受付
13時開講～10日(木) 正午まで
- 会場 山口市 湯田温泉 常磐
- 講師 奈良県 法相宗大本山薬師寺録事
小林 澤應 老師
- 参加費 14,000円
- 対象 教化指導員
- 申込先 教化センター
- お問い合わせ先 教化センター

センター布教協議会・講習会

- 日時 令和3年9月7日(火) 正午受付
13時開講～8日(水) 正午まで
- 会場 岡山市 リーセントカルチャーホテル
- 講師 福島県 長秀院住職
特派布教師
渡辺 祥文 老師
- 参加費 14,000円
- 対象 布教師・宗門僧侶
- 申込先 各宗務所
- お問い合わせ先 教化センター

センター布教師 紹介



岡山県 第四七番 正眼寺
住職 **土本 公祥 老師**
総社市新本五七七七
電話〇八六六一八三一〇〇八一



島根県 第二七六番 訂心寺
住職 **木村 芳典 老師**
浜田市長浜町一五八八
電話〇八五五二二七〇五二二



広島県 第一四九番 萬福寺
住職 **高橋 道英 老師**
庄原市是松町二二七
電話〇八二四一七二一〇二九二



山口県 第二七番 長徳寺
住職 **河谷 正也 老師**
山口市秋穂東七〇五二
電話〇八三一九八四一三四五四



島取県 第一六二番 梅翁寺
住職 **倉瀧 英信 老師**
米子市車尾五十七五〇
電話〇八五九二二四二七五



島根県 第三四番 正禅寺
住職 **吉長 裕教 老師**
松江市八雲町平原七四二一
電話〇八五二一五四一〇二〇

令和3年度事業計画

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

月	日	行 事	備 考
4	13(火)	中国管区運営協議会 (管区事業)	米子市
	14(水)	前期教化活動推進委員会	ワシントンホテルプラザ
	19(月)～20(火)	全国教化センター前期連絡協議会	リモート開催
5	上旬	中国管区教化センター報第37号発刊	
	12(水)	センター布教師協議会	広島市
	13(木)	第1回教化資料企画制作委員会	アークホテル広島駅南
6	未定	婦人会中国管区役員会 (婦人会)	未定
	9(水)～10(木)	教化指導員研修会	山口市 湯田温泉 常磐
	19(土)	Let's try ZEN ～坐禅をしてみませんか？	米子市 總泉寺
7	12(月)～13(火)	管区役職員人権啓発研修会 人権啓発に関する協議会 (管区事業)	鳥取県宗務所管内
8	未定	第2回企画制作委員会	広島市
9	7(火)～8(水)	センター布教協議会・講習会 布教師検定会 (8日午後)	岡山市 リーセントカルチャーホテル
	9(木)	全国教化センター後期連絡協議会	リモート開催
10	初旬	Let's try ZEN～坐禅をしてみませんか？～	広島市
	14(木)	教化活動推進委員会	広島市
	下旬	婦人会中国管区研修会 (婦人会)	未定
11	9(火)	禅をきく会	オンライン配信
12			
1	下旬	中国管区教化センター報第38号編集会議	教化センター
2	未定	教化活動企画委員会	
	未定	第3回教化資料等企画制作委員会	広島市
3			

教化事業予定

4月～翌年3月(毎週土・日)	ラジオ放送「今日のこころ 私のこころ」	RCC中国放送 (キー局)
毎月1回	山陰中央新報文化講座「心安らぐ写経・写仏入門」	鳥根県松江市
随時	SNS投稿・ホームページ更新 動画作成及び配信	

その他関係行事

11月17日(水)	中国曹洞宗青年会岡山大会 (青年会)	岡山県内
-----------	--------------------	------

センター役職員

	統 監	和田光史	傳 燈 寺	〒689-4233 鳥取県西伯郡伯耆町二部1519	☎0859-62-7189
	主 監	藤島義信	長 見 寺	〒692-0206 鳥根県安来市伯太町安田960	☎0854-37-0515
	賛 事	井上紀生	常 福 寺	〒689-5224 鳥取県日野郡日南町多里471-1	☎0859-84-0310
	賛 事	曾根慎吾	玉雲寺副	〒699-1434 鳥根県仁多郡奥出雲町佐白404	☎0854-54-1536

編集後記

管区内ご寺院様には平素より格別なるご高配を賜り誠にありがとうございます。ご意見を伺います。

昨年度はコロナ禍の中、各県宗務所様、ご寺院様におかれましては諸行事開催について大変苦慮されたことと拝察いたします。当教化センターにおいても例外ではなく事業によつては中止を余儀なくされ、当初の計画通りに進めることができなかった事に残念な思いをした次第であります。

しかしながらどのような状況下にあつても教化センターの役割は宗侶の方々へは常に研修の場を設け、一般の方々に対しては広く禅の普及を図り、布教教化の推進をしていく事だと考えております。このコロナ禍が新たな教化方法にインターネットを活用した動画配信やSNSによる情報発信に積極的に取り組む機縁をもたらしたと思えます。なんとなく閉塞感が漂う世情ではありますが、仏教や禅の教えが皆様の心に一筋の光となるよう努めてまいります。

昨年十一月、長尾前統監老師の大本山永平寺侍局就任に伴いセンター内の人事が異動となりました。また新たな気持ちで役職員一同教化事業に邁進していく所存です。管区内各ご寺院様には引き続きご指導ご支援賜りますようお願い申し上げます。

主監 藤島義信 拝